

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年2月10日
【四半期会計期間】	第17期第3四半期（自平成23年10月1日至平成23年12月31日）
【会社名】	株式会社ニューフレアテクノロジー
【英訳名】	NuFlare Technology, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 重光 文明
【本店の所在の場所】	静岡県沼津市大岡2068番地の3
【電話番号】	(055)926-5419
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 内野 健治
【最寄りの連絡場所】	神奈川県横浜市港北区新横浜三丁目2番6号
【電話番号】	(045)471-1982
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 内野 健治
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第16期 第3四半期 連結累計期間	第17期 第3四半期 連結累計期間	第16期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年12月31日	自平成23年4月1日 至平成23年12月31日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高 (千円)	20,026,884	19,137,030	30,727,729
経常利益 (千円)	1,129,277	6,434,726	2,824,026
四半期(当期)純利益 (千円)	915,550	3,571,604	1,576,854
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	897,375	3,530,070	1,550,370
純資産額 (千円)	8,775,427	12,838,492	9,428,422
総資産額 (千円)	38,627,282	37,493,879	40,359,262
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	7,629.59	29,763.37	13,140.45
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	22.7	34.2	23.4

回次	第16期 第3四半期 連結会計期間	第17期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自平成22年10月1日 至平成22年12月31日	自平成23年10月1日 至平成23年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	5,837.27	1,057.18

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第16期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、急激な円高や不安定な海外経済の影響により、企業収益が減少しており、個人消費は横ばいに推移いたしました。また、東日本大震災及びタイの大洪水の影響からは、着実な持ち直し傾向がみられるものの、今後も円高の影響により景気が下振れするリスクがあります。

当社グループが事業を行なう半導体業界においては、全体的に市場の減速感がみられたものの、当社グループの顧客においては、先端半導体製造関連装置向け設備投資に積極的な姿勢がみられました。

このような状況のもとで、当社グループは、主力の電子ビームマスク描画装置及びエピタキシャル成長装置の拡販に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は、19,137,030千円(前年同期比4.4%減)、営業利益6,577,961千円(前年同期比378.7%増)、経常利益6,434,726千円(前年同期比469.8%増)、四半期純利益3,571,604千円(前年同期比290.1%増)となりました。

セグメントの業績につきましては、当社グループは、同一セグメントに属する半導体製造装置、同部品の製造販売事業を行なっており、当該事業以外に事業の種類がないため、記載しておりません。

#### (2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における研究開発活動の金額は、1,621,535千円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	140,000
計	140,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成24年2月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	120,000	120,000	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	(注)
計	120,000	120,000	-	-

(注) 普通株式は完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。  
なお、当社は、単元株制度を採用しておりません。

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

## (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

## (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年10月1日～ 平成23年12月31日	-	120,000	-	6,486,000	-	1,986,000

## (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成23年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【発行済株式】

平成23年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	-	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 120,000	120,000	(注)
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	120,000	-	-
総株主の議決権	-	120,000	-

(注) 普通株式は完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。  
なお、当社は、単元株制度を採用していません。

## 【自己株式等】

平成23年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
-	-	-	-	-	-
計	-	-	-	-	-

## 2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	15,969,529	14,948,931
受取手形及び売掛金	10,322,731	6,491,230
商品及び製品	164,465	39,567
仕掛品	5,096,526	8,706,354
繰延税金資産	1,116,413	1,014,329
その他	279,411	231,339
<b>流動資産合計</b>	<b>32,949,078</b>	<b>31,431,753</b>
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	6,060,912	4,772,242
無形固定資産	729,613	778,109
投資その他の資産	619,657	511,774
<b>固定資産合計</b>	<b>7,410,183</b>	<b>6,062,126</b>
<b>資産合計</b>	<b>40,359,262</b>	<b>37,493,879</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	7,849,008	8,641,667
短期借入金	6,000,000	-
1年内返済予定の長期借入金	1,900,000	1,600,000
未払法人税等	2,224,076	1,675,515
前受金	3,781,493	5,684,457
製品保証引当金	292,873	530,289
その他	2,215,906	1,416,397
<b>流動負債合計</b>	<b>24,263,357</b>	<b>19,548,328</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	4,500,000	3,000,000
退職給付引当金	1,228,265	1,319,955
役員退職慰労引当金	15,379	-
資産除去債務	247,012	251,280
その他	676,825	535,822
<b>固定負債合計</b>	<b>6,667,482</b>	<b>5,107,058</b>
<b>負債合計</b>	<b>30,930,839</b>	<b>24,655,387</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	6,486,000	6,486,000
資本剰余金	1,986,000	1,986,000
利益剰余金	971,371	4,422,975
<b>株主資本合計</b>	<b>9,443,371</b>	<b>12,894,975</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
為替換算調整勘定	14,948	56,482
その他の包括利益累計額合計	14,948	56,482
<b>純資産合計</b>	<b>9,428,422</b>	<b>12,838,492</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>40,359,262</b>	<b>37,493,879</b>

## ( 2 ) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【 四半期連結損益計算書】

## 【 第 3 四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)
売上高	20,026,884	19,137,030
売上原価	13,235,456	6,880,185
売上総利益	6,791,428	12,256,845
販売費及び一般管理費	5,417,210	5,678,883
営業利益	1,374,217	6,577,961
営業外収益		
受取利息	3,902	8,081
受取賃貸料	11,857	10,147
その他	6,525	9,841
営業外収益合計	22,285	28,071
営業外費用		
支払利息	219,584	118,818
その他	47,641	52,488
営業外費用合計	267,225	171,306
経常利益	1,129,277	6,434,726
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	101,834	-
特別損失合計	101,834	-
税金等調整前四半期純利益	1,027,443	6,434,726
法人税、住民税及び事業税	57,057	2,798,936
法人税等調整額	54,835	64,185
法人税等合計	111,892	2,863,122
少数株主損益調整前四半期純利益	915,550	3,571,604
四半期純利益	915,550	3,571,604

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	915,550	3,571,604
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	18,174	41,533
その他の包括利益合計	18,174	41,533
四半期包括利益	897,375	3,530,070
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	897,375	3,530,070
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## 【追加情報】

当第3四半期連結累計期間  
(自平成23年4月1日  
至平成23年12月31日)

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フローは作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
減価償却費	1,303,496千円	1,189,554千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

配当に関する事項

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

配当金支払額

	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月28日 定時株主総会	普通株式	120,000	1,000	平成23年3月31日	平成23年6月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

当社グループは、半導体製造装置、同部品の製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

当社グループは、半導体製造装置、同部品の製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	7,629円59銭	29,763円37銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	915,550	3,571,604
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	915,550	3,571,604
普通株式の期中平均株式数(株)	120,000	120,000

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年2月10日

株式会社ニューフレアテクノロジー  
取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 内田 英仁 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 中原 義勝 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ニューフレアテクノロジーの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ニューフレアテクノロジー及び連結子会社の平成23年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。